

彦名地区チビツ子環境パトロール隊

【中海の水質浄化実践活動から生まれた使用済み割り箸、廃食油を回収し、紙及び車の燃料に再生する普及啓発活動】

功績

【中海の水質浄化実践活動から生まれた使用済み割り箸、廃食油を回収し紙及び車の燃料に再生する普及啓発活動】

1990年に「彦名地区チビツ子環境パトロール隊」を結成し、「中海の水質浄化」という身近な環境問題をテーマに20年間にわたり活動を継続している。特に、水質汚濁の大きな原因となる廃食油を回収し、製紙工場で化石燃料の代替として利活用するとともに、地域の施設に導入されたBDF(バイオ・ディーゼル燃料)精製プラントに原料として供給しており、精製されたBDFは地域で軽油車輛の代替燃料として利活用している。また、使用済み割り箸を回収・製紙工場へ搬入し、紙へ再資源化する取り組みなども地域住民とともにやっている。その活動の輪は彦名地区にとどまらず県内外へ広がっている。